

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R 4 - 6 号)

令和4年7月13日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年7月12日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

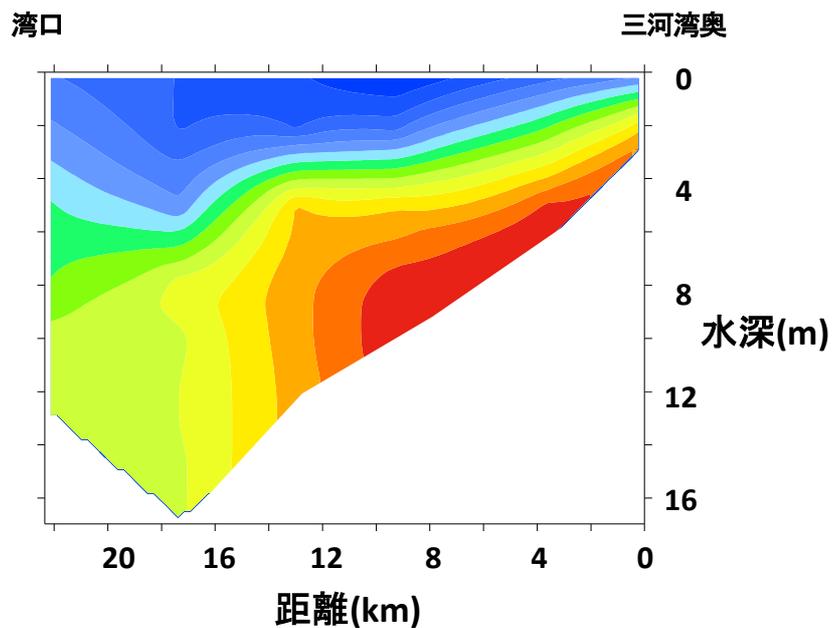
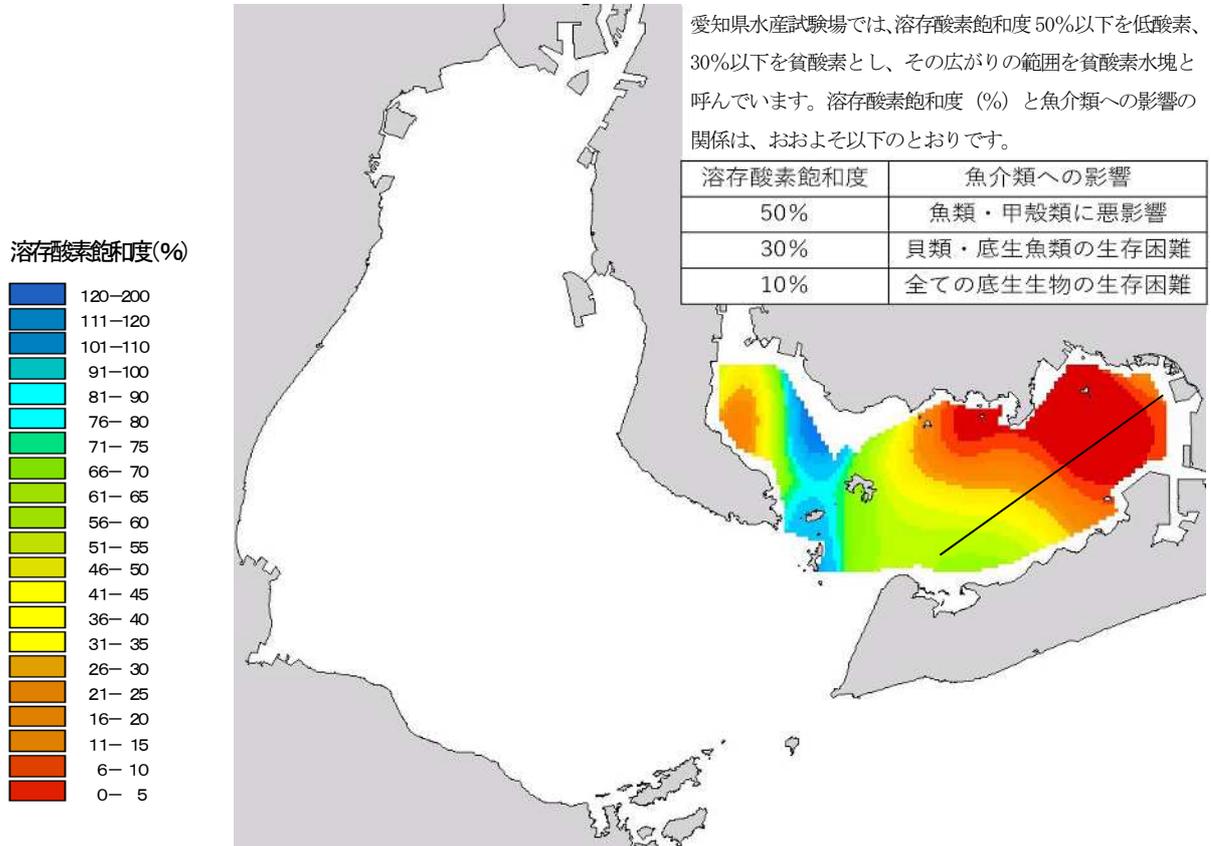


図1 三河湾 (7月12日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

7月12日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥部と知多湾西部で貧酸素水塊が確認されました。前回調査時（7月4、6日；図2）と比べると、渥美湾では溶存酸素飽和度10%以下の範囲が広がっていました。

鉛直分布図を見ると、湾奥部から湾中央部の水深2～5mより下層で貧酸素水塊が発達していました。前回調査時（7月4、6日）に見られた、外海水の湾内底層への流入による、貧酸素水塊が持ち上がりは見られませんでした。

7月初旬以降、降雨が多くなっており表層塩分が低下しています（表）。密度躍層が発達していることから、今後も貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	19.9～28.2	17.4～30.1
底層	20.2～27.6	26.9～33.5

参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

溶存酸素飽和度(%)

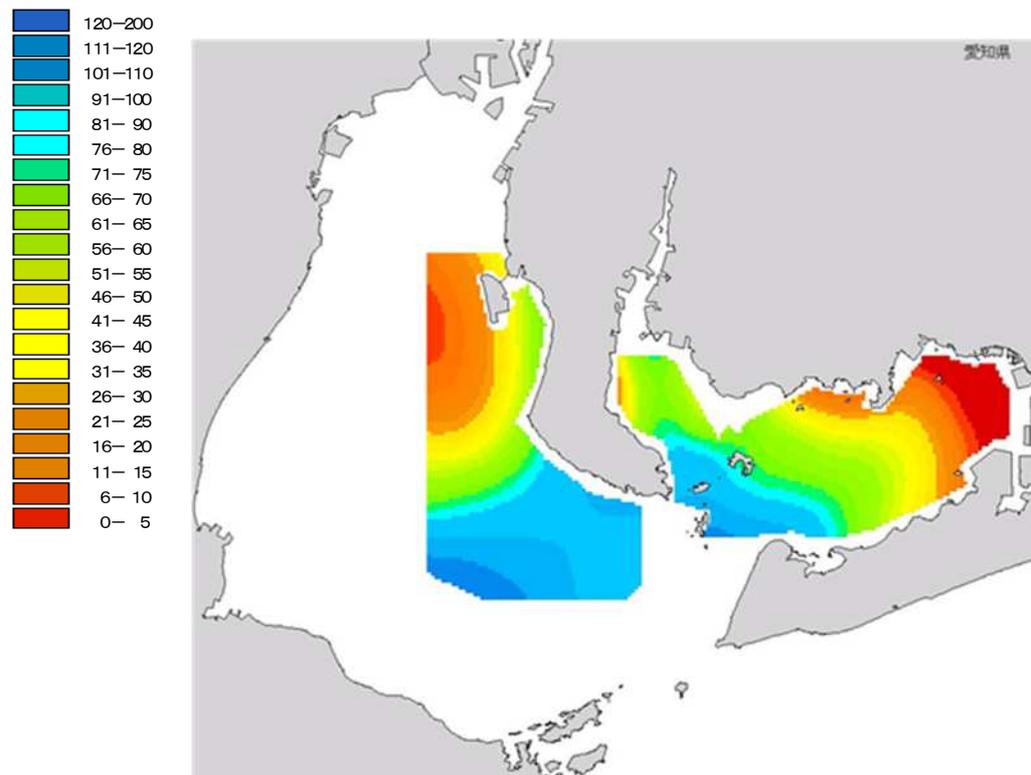


図2 令和4年7月1日（伊勢湾）、7月4、6日（三河湾）